



どんなときも自分らしく生きる幸せ ～不思議なパン屋の哲学を通して～

ベストセラー『田舎のパン屋が見つけた「腐る経済」』の著者である渡邊 格氏を迎え、楽しい時間つまらない時間も、経験したことすべてが自分の糧になるような「自分の時間を全部生きる」ことについて考える機会となりました。また、日々の生活の中で「何かおかしいな」「本当にやりたいことは他にあるのに」と思うことに対して、ヒントや気づきをもたらえる機会になりました。（受講者数97人）

〈研修内容〉

【講義】 「菌とのかかわりから考える共生の社会づくり」
講師 野生の菌で醸すパン、地ビール&カフェ「タルマーリー」
オーナーシェフ 渡邊 格 氏



受講者アンケートから

- 菌が出ず現象のおもしろさ、菌が教えてくれるということが、自然との共生に大切なことというのが興味深かった。（一般）
- 本をちょうど借りているのできちんと読もうと思いました。無駄を少なくし、効率や時短などを考えてきたので、「無駄を積み上げて何をやっても自分の利益につながる」という話が印象に残りました。仲間がほしいなと思うことがよくあるので、1つでも他者との興味の場が重なり、仲間ができるといいなと思いました。ありがとうございました。（一般）
- 無駄なものではなく、みんな意味がある。みんなで自由に挑戦していく生き方がすてき。なかなか定義、理想をかかげても難しいが、人を集めるやり方は生かせそう。（社会福祉協議会）
- ご自身の経験に基づく菌や発酵の話がとても面白かったです。菌の世界から自然環境や地域社会との繋がりを深く考え、より良い環境へと進むよう働きかけている活動の様子が伺えて素晴らしいと思いました。「腐る経済」を読み、疑問に思っていたコトも、お話を聞いて納得できた所がありました。理想論だけでない無理のない共生、私もその考えに共感しました。参加できて良かったです。（諸団体）